

静岡県観光公式サイト「ハローナビしずおか」改修業務委託仕様書

1 委託業務名

静岡県観光公式サイト「ハローナビしずおか」改修業務委託

2 事業の目的

公益社団法人静岡県観光協会が運営する静岡県観光公式サイト「ハローナビしずおか」は、CMS や導線設計などの基本構造が古く、モバイル閲覧が主流となっている現在のウェブ環境に十分対応できていない。このためユーザー体験の低下や、アクセス数の減少を招いている。

この状況を改善するため、全面的なサイト改修を行い、ユーザー体験の向上とアクセス数の増大を図るとともに、運用者が効率的かつ柔軟に情報発信できる体制を確立する。また、サイトの安定性と安全性を強化し、静岡県の観光地としての認知度向上、観光客の誘致、県内周遊及び滞在の促進、観光消費額の増大、再訪促進につなげることで、静岡県が策定した観光基本計画の目標達成に寄与することを目的とする。

3 契約期間

契約締結の日から令和8年6月30日（火）まで

※第1期：契約締結日から令和8年3月31日（火）まで

サイト全体のシステム構築、主要コンテンツの移行、サイト公開

第2期：令和8年4月1日（水）から令和8年6月30日（火）まで

一部機能（写真コンテスト機能等）追加、一部コンテンツ移行

4 現状の課題と改修方針

（1）モバイル対応が不十分

- ・現状：現行サイトは、モバイルユーザーが74%を占めているものの、モバイル対応が不十分であり、ユーザー体験を損ねている。そのため、ユーザーの離脱率増加、検索エンジン評価の低下（モバイルファーストインデックスによる検索順位への影響）を招いている。
- ・改修方針：モバイルフレンドリーで、訪問者が直感的に回遊できるUIに改修することで、ユーザーの回遊率向上、サイト滞在時間延長、検索エンジン評価改善によるオーガニック検索流入の増加につなげる。

（2）検索等の操作性が低い

- ・現状：スポット検索結果の並べ替えや絞り込みができないなど操作性が低いため、ユーザーが求める情報に効率的にたどり着くことができず、サイトからの離脱を招いている。
- ・改修方針：ユーザビリティの向上を図り、ユーザーにとって操作しやすいUIに改修するこ

とで、離脱率の低下やサイト内回遊による滞在時間の延長につなげる。

(3) コンテンツ作成の自由度が低い

- ・現状：現行の CMS はページ作成の自由度が低く、この制約が、別途ブログサイトを運用せざるを得ない状況を生み出している。これにより、情報が複数のドメインに分散し、ユーザー体験の分断と運用の非効率化が生じ、サイトの訴求力の低下や運用担当者の作業負荷と運用コストの増大を招いている。
- ・改修方針：ページ作成の自由度が高く、観光サイトに適した CMS を導入し、本サイトとブログサイトを統合することで、情報の一元化と管理効率の向上を図り、戦略的かつ効果的な情報発信を実現する。

5 改修後のサイトの在り方

- (1) コンセプト：静岡県観光の「旅マエの教科書」
- (2) コンテンツ：正確な基本情報とユーザーのニーズを捉えた旬の観光情報の掲載
- (3) 役割：県域全体を対象とした観光情報のハブとして機能し、県内の周遊を促進することで、県内滞在時間の延伸に寄与
- (4) ターゲット：首都圏、中京圏、関西圏の 20～40 代のユーザー

6 委託業務内容

新たな静岡県観光公式サイト（以下、「新サイト」という。）改修にかかる設計・制作、サーバへのインストール及びテスト等の業務の一切を行うものとする。

(1) 新サイトの設計・機能要件

新サイトの設計にあたっては、「2 事業の目的」、「4 現状の課題と改修方針」と「5 改修後のサイトの在り方」に記載した内容を踏まえ、静岡県の観光地としての認知度向上、観光客の誘致、県内周遊及び滞在の促進、観光消費額の増大、再訪促進につなげるため、新サイトにおいて達成すべき KPI の設定を含んだウェブ戦略を提案すること。

また、新サイトの機能等については、次のア～セの要件を満たすものとする。

ア 日本語で構築すること。

イ Windows、Mac、iPhone、Android 端末に搭載されている汎用ソフトウェアの最新版で閲覧可能であること。また、Edge、Chrome、firefox、Safari 等ブラウザの最新版で閲覧可能であること。

ウ 新サイトの名称及びドメイン

- i) 名称：受託者に提案を求めるが、最終的には委託者が決定する。
- ii) ドメイン：現行サイトのドメインを使用することを想定しているが、新たな提案は妨げない。ただし、新たなドメインを取得・運用する場合の メリット・デメリットを整理した

うえで提案すること。

エ 静岡県観光情報発信に適したサイト構成を提案し、委託者が別添「ハローナビしずおかサイト構成表」で指定するコンテンツを、提案したサイト構成に沿って最適化したうえで移行すること。また、ブログサイトより 130 記事以上を移行すること。なお、移行するブログサイト記事は協議の上決定する。

オ 観光スポットについては、「静岡県観光デジタル情報プラットフォーム」（以下、「PF」という。）と API 連携して表示できるようにするとともに、CMS から登録できるようにすること。

※500 件程度の観光スポット情報の連携を予定。PF については、改修を実施するため、PF 改修業務受託事業者と連携して行うこと。

（令和 7 年度静岡県次期観光デジタル情報プラットフォーム構築業務委託仕様書、別紙 1、別紙 2 添付）

カ イベント情報については、「くふうロコしずおか」と API 連携して表示すること。

（くふうロコしずおか：<https://loco.kufu.jp/shizuoka/events> API 仕様書添付）

キ 宿泊・体験予約については、ユーザーがスムーズに予約できる導線確保するため、宿泊プランや体験プログラムを販売する OTA と API 連携し、アフィリエイト収入が得られるようにすること。

ク フォトライブラリーについては、現行サイトの「ハローナビ写真館」の検索機能や一括ダウンロード機能を実装すること。また、現在掲載している画像データのうち委託者が指定する 200 件を移行すること。

（ハローナビ写真館：<https://hellonavi.jp/library/index.html>）

ケ 旅行会社・メディア向け情報については、現行サイトの「旅行会社・メディアの方へ」のお知らせ機能を実装するとともに、一部のコンテンツについてはパスワードを設定し、特定の者のみ閲覧できるようにすること。

（旅行会社・メディアの方へ：<https://hellonavi.jp/travel-agent/index.html>）

コ 一般向け、事業者向けのお知らせ機能を実装すること。

サ SNS のソーシャルプラグインを配置し、新サイトで発信する情報が拡散しやすくなるようにするなど、SNS との情報連携を強化すること。

シ 現行サイトのトップページと同様に、バナー掲載スペースを 2 ヶ所設置すること。

ス 現行サイトと同様に、Google AdSense を利用した広告の設置・実装を行うこと。

セ 新サイトのアクセス分析及び検索パフォーマンス計測のため、Google Analytics 4(GA4) 及び Google Search Console の設定を行うこと。また、これらの計測ツールや今後追加される可能性のある外部サービスを効率的に管理するため、Google タグマネージャー(GTM)を導入し、適切なタグ及びトリガーを設定すること。

(2) UI・UX 設計・デザイン

新サイトのデザインは、年齢や障害の有無、閲覧デバイスに関わらず、多くのユーザーが目的の情報を得られるよう工夫することとし、下記ア～キに対応すること。

- ア モバイルフレンドリーで、訪問者が直感的に回遊できる UI とすること。
- イ ユーザーが操作しやすく、サイト内の各コンテンツへスムーズにアクセスできるように整理されたレイアウトとし、極力少ないクリック数で目的のページにたどり着けるようにすること。
- ウ ユーザーが欲しい情報を引き出せるような検索機能(エリア別検索、ジャンル別検索、キーワード検索等)を備えること。
- エ どのデバイスから閲覧しても最適な表示となるように、レスポンシブウェブデザインで制作することとし、ユニバーサルデザインに配慮すること。(JIS X 8341 3:2016 における適合レベル AA に準拠すること)
- オ ユーザーが、どのページにアクセスしているのかが分かりやすいように、各ページには統一したデザインのグローバルナビゲーションやページ位置確認機能(パンくずリスト)等を表示させること。
- カ サイト内の回遊性を高めるため、記事ランキング表示、レコメンド、近隣スポット表示、お気に入りスポット登録等ができるようにすること。(ただし、地図を表示させる際は、Google マップの課金が極力生じないよう工夫すること)
- キ 現行サイトのテキスト・写真を CSV データ等で抽出し、転用・編集を行う場合は、データ抽出作業費を見込むこと。

(3) CMS の構築・機能要件

(1)、(2) で実装した機能等を効率的に運用するため、本サイトとブログサイトの CMS を統合し、初めてシステムを利用する者や、HTML や CSS の知識がない者でも容易にサイト運用ができ、サイト管理者にとって使いやすい CMS を構築すること。構築する CMS については、下記ア～サの要件に対応しているものとする。

- ア CMS 利用にあたって、PC 端末に、特別なアプリケーション等をインストールする必要が無いようにすること。(インターネット環境があれば、各端末のウェブブラウザから利用できること)
- イ コンテンツの管理及び作成のため、ID と PW を発行する機能を構築すること。また、ID は「管理者(全権限)」、「記事ページ限定権限」などアカウント毎に管理できる権限を設定して発行できるようにすること。
- ウ CSV によるデータ抽出を可能とすること。
- エ エリアガイド、モデルコース、特集記事、おすすめ記事、ブログ記事、キュレーション記事などのコンテンツを作成する際、テキスト・画像・動画・地図など、あらかじめ用意さ

れた多様なコンテンツ部品を、専門知識がなくても自由に組み合わせ、表現力豊かなページを容易に作成できる編集機能を有すること。

オ 上記コンテンツのカテゴリーやタグの設定を自由に追加・変更・削除できるようにするとともに、任意のコンテンツを簡易な操作でトップページに表示できる機能を実装するなど、自由度の高いシステムとすること。

カ オープンソースの CMS を導入する場合は、脆弱性が確認されて対応パッチが公開された際、即座に最新のパッチを適用すること。

キ 画像アップロードの際、画像サイズ等が自動で最適化されること。なお、アップロードする画像のファイル名については、半角英数字のみといった制限がないようにすること。

ク 各ページに公開開始日時と終了日時を設定できるタイマー機能を備えること。また、非公開時にプレビュー機能などでページの確認ができること。

ケ 動的ページについては、公開日と更新日を表示できる機能を備えること。ただし、公開日と更新日は、任意に変更できるようにすること。

コ フォーム機能については、問い合わせ、キャンペーンの申込、写真コンテストなどに対応できるようにすること。問い合わせについては、フォームに入力された内容が指定したメールアドレスに直接届くようにすること。写真コンテストについては、現行サイトの「絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト」の応募フォームのとおり、あらかじめ2部門（絶景しずおか富士山部門、秀景ふるさと富士部門）のフォームを制作しておくこと。（応募フォーム記入項目が部門により若干異なることに留意すること。）

（現行サイトのコンテストページ：<https://hellonavi.jp/fujisan-photo/index.html>）

サ 操作マニュアルを作成し、サイト公開前にシステムの操作研修を行うこと。

（４）検索エンジン最適化（SEO）

新サイトが主要な検索エンジンの上位に表示されるように、下記ア～ウの要件に対応し、検索エンジンの最適化を行うこと。また、Google の「AI Overview」や「ChatGPT」などの生成 AI や検索型 AI に対して情報を正確に認識・評価・引用してもらうための対策（AIO）も行うこと。

ア すべてのページにおいてページのタイトルや見出し（キャッチコピー）は基本的に画像ではなくテキストを使用し、タイトルタグ、h1 タグ、meta description など、検索エンジンへの情報通知に有効と判断されるものについては、適切なテキストを埋め込むこと。ただし、検索エンジンにスパム行為と判断されるような記述を行ってはならない。

イ 画像（貸出用の写真及びスポット等のサブ画像除く）の新規登録にあたっては、Alt を作成し、最適な画像名のワードを入れることを基本とすること。

ウ Google のコアウェブバイタルの主要3指標が「良好」となるようにするとともに、公開前に Google PageSpeed Insights などを使用してサイト全体のチェックを行い、トップページ及びサイトを構成する主要ページの結果について委託者に報告すること。

(5) サーバの品質・性能要件

サーバについては、下記ア～カの要件に対応するものを提案すること。ただし、サーバの契約名義は委託者とし、サーバの管理画面等の権限はすべて委託者が保有している状態にすること。(サーバの構築、第1期におけるサイト公開後の運用保守管理については別契約とするため、別途、見積書を提出すること)

ア 常時SSL化対応すること。

イ 個人情報保護及び不正アクセス、改ざん、データ漏えい等の情報セキュリティ事件や事故等を防止するため、必要な情報セキュリティ対策を十分に講じること。また、システム構築後もセキュリティパッチの適用やサーバ証明書の更新等に対応し、常に最新の状態を保つこと。

ウ アクセスログ等ネットワークに関するログを改変せず8週間以上保管すること。

エ 障害が発生した場合に速やかにシステムを復旧でき、復旧するまでは一連の技術サポート(代替サーバの手配やバックアップを用いたデータ環境の復旧など)を提供できる体制を整備すること。

オ 想定される災害に対するサイト運用について考慮されたサイト設計、運用体制を構築すること。

カ システム及びデータのバックアップを行うこと(1日1回、3世代以上)。

(6) 動作確認について

スマートフォン、タブレット及びPCによる動作確認は環境を十分に配慮した上で実施し、各デバイスに最適化された表示がされるよう確認すること。また、動作確認等に必要な機器は受託者において準備し、テストが円滑に行えるよう環境を整備すること。

(7) システムの運用保守管理要件

ア 前述の(1)～(6)を常時満たすことができるよう対応すること。

イ 24時間365日の連続運用を前提とし、安定的に稼働すること。

ウ 運用等に関する質問を電話・メール等にて対応するヘルプデスクを設置すること。

エ 障害等が発生した際は、速やかに電話等で障害状況を確認し、復旧措置を行うこと。

オ 障害等の原因、影響範囲、対応方針、復旧見込み等は、逐次速やかに連絡すること。また、ユーザー向けに適切な障害情報の発信が可能な仕組みを設けること。

カ 障害の発生状況、対応内容等の履歴を記録・管理すること。

キ 次年度以降の運用保守管理の内容について提案するとともに、別途、次年度の運用保守管理の見積書を提出すること。

(8) その他

- ア プロモーション用に、バナー・ロゴを制作するとともに、利用にかかるガイドライン（利用規約）を作成すること。
- イ 必要に応じ、公開後のページについて、軽微な修正(テキスト・画像の修正、ファイルの入れ替え等)を行うこと。
- ウ 受託者は、納品・検収から1年間に瑕疵が見つかった場合や、システムの不具合が発生した際には、費用負担も含め受託者の責任の下、改修作業等を行い対処すること。
- エ 受託者は、次回の当該サイトの再構築など、契約満了時に他の事業者を引き継ぐ可能性に備え、本サイトが使用するドメインや作成したコンテンツデータ等を速やかに引き継ぐことができる状態で管理すること。
- オ 受託者は、コンテンツを構成するファイル(HTML ファイル、CSS ファイル、イメージファイル等)、その他 DB に格納されているデータを無償で提供すること。出力形式は CSV を原則とする。
- カ 受託者はコンテンツを構成するファイルのディレクトリ構造及びDB から CSV として出力したデータの各カラムについて、説明書を作成すること。